

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立長良特別支援学校

学校番号	103
------	-----

自己評価

学校教育目標	一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、個別具体的に応じた教育活動を行う
評価する領域・分野	「学校教育全般」
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動におけるアンケートでは、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が全体の90%以上を占めており、当校の教育活動について、ある程度理解を得ている。一方、「分からない」の回答が8.6%（前年度4.0%）あり、学校の情報発信に課題があると考えられる。 ・隣接する長良医療センターからの通学生や訪問生等、様々な学びの場を展開している当校において、卒業後の進路選択については、個々の実態や希望に応じ慎重かつ丁寧に進路支援を進めていく必要がある。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉制度等について職員が知識を深め、進路支援や家庭支援に生かす。（小学部・中学部・高等部・キャリア支援部） ・緊急時対応訓練の実施やヒヤリハットアクシデント報告の見直しを図り、安心安全な学校を目指す。（保健部）
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や保護者の願いを把握し、進路実現に向けた検討の場を設ける。 ・児童生徒の体調急変時及び緊急時の対応について、職員全員が共通認識し行動できるようにする。
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部とキャリア支援部が連携を密に行い、生徒や保護者の願いやその実態を把握し、関係機関との連携、更には新たな進路先について開拓を行う。 ・緊急時対応について新たなマニュアルを作成し全職員に周知するとともに、訓練を実施する。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に合った進路指導ができているか。 ・児童生徒の体調急変時や非常変災時等の緊急時を想定し、児童生徒の安全が確保できているか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高それぞれ卒業学年の児童生徒を中心に、卒業後の進路について個別に検討。体験通学や学習を繰り返し、慎重に進路選択を行った。 ・緊急時対応時マニュアルの見直しを行い、訓練を実施した。
評価の視点	評価
① 児童生徒の実態に合った進路選択ができたか	(A) B C D
② 児童生徒の体調急変時及び緊急時について必要な対策ができたか	(A) B C D
③ 学校の教育活動等、取り組みが発信できているか	A (B) C D
成果・課題	総合評価
○各部それぞれにおいて、様々な進路選択があったが、その都度、話し合いの場や体験の場を持ちながら対応できた。今後は、その経験を次年度以降に繋げていくとともに、卒業学年以前の段階から進路指導の充実を図っていく必要がある。 ○体調急変時及び緊急時訓練を、職員一人一人が場面を想定・意識して行った。	(A) B C D
来年度に向けての改善方策案	○今年度の成果は、単年度で完結するものではない。来年度以降も引き続き課題意識を持って取り組むとともに、内容をより改善していく。また、それら学校の取組を、きちんと情報発信していく。

学校関係者評価 (令和6年2月7日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や保護者の思いを受けて、積極的かつ先進的な進路開拓を行っているところは評価できる。このような取り組みについて学校内に留めておくのではなく、関係機関や地域へ積極的に発信してほしい。
-----------	---